

学校施設等の耐震診断結果と対応について

(平成24年4月1日現在)

幼稚園名・学校名	区分	棟名	構造	階数	建築年	延べ床面積(m ²)	耐震性能	対応
磯部幼稚園	校舎	園舎	S	1	H05	320	新耐震	
飯豊幼稚園	校舎	園舎	RC	1	S61	447	新耐震	
大野幼稚園	校舎	園舎	S	1	H06	398	新耐震	
八幡幼稚園	校舎	園舎	S	1	S62	400	新耐震	
山上幼稚園	校舎	園舎	S	1	S61	320	新耐震	
日立木幼稚園	校舎	園舎	S	1	H03	320	新耐震	
玉野幼稚園	校舎	園舎	RC	1	S60	212	新耐震	
中村第一小学校	校舎	教室管理室棟	W	2	H23	4,237	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	S	2	S42	856	A・D	H21・22年度耐震補強工事実施
中村第二小学校	校舎	教室管理室棟	RC	3	H10	5,365	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	H11	1,258	新耐震	
大野小学校	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	S58	708	新耐震	
	校舎	教室管理室棟	RC	3	H06	3,194	新耐震	
山上小学校	校舎	教室管理室棟	RC	2	S61	1,966	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	W	1	S40	397	未診断	H24年度改築工事実施
玉野小学校	校舎	教室管理室棟	RC	2	S60	1,323	新耐震	
八幡小学校	屋内運動場	屋内運動場	S	1	S48	525	D・D	H22年度耐震補強工事実施
	校舎	教室管理室棟	RC	3	H05	2,159	新耐震	
飯豊小学校	校舎	特別教室棟(東棟1、2階)	RC	3	01(S54)	761	新耐震	
	校舎	特別教室棟(東棟3階)	RC	3	H01	318	新耐震	
	校舎	教室管理室棟	RC	3	H01	2,220	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	S	2	H19	859	新耐震	
磯部小学校	校舎	教室管理室棟	RC	2	H08	2,251	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	W	1	S38	595	未診断	H24・25年度改築工事実施
日立木小学校	校舎	教室管理室棟	RC	2	S47	1,515	B・A	H21年度耐震補強工事実施
	校舎	特別教室棟	RC	2	S49	277	A・A	
	屋内運動場	屋内運動場	S	2	S48	517	C・A	H21・22年度耐震補強工事実施
桜丘小学校	校舎	教室棟(北校舎東棟)	RC	2	S54	584	A・A	
	校舎	教室管理室棟(北校舎西棟)	RC	3	H02	2,660	新耐震	
	校舎	教室棟(北校舎東棟)	RC	2	H02	181	新耐震	
	校舎	教室棟(南校舎)	RC	3	H03	2,399	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	H23年度解体					
中村第一中学校	校舎	教室棟(南校舎中央棟)	RC	3	S53	1,554	D・C・A	H21年度耐震補強工事実施
	校舎	教室棟(南校舎西棟)	RC	3	S53	671	D・C・A	
	校舎	特別教室棟(音楽室棟)	RC	2	S53	354	B	
	校舎	教室管理室棟(東校舎)	RC	3	S54	2,834	C・C・B	
	校舎	特別教室棟(北校舎)	RC	3	S54	508	C・C・A	
	屋内運動場	屋内運動場	S	2	S56	1,200	A・A	
向陽中学校	校舎	教室管理室棟	RC	3	H15	6,119	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	H17	1,253	新耐震	

(平成24年4月1日現在)

幼稚園名・学校名	区分	棟名	構造	階数	建築年	延べ床面積(m ²)	耐震性能	対応
中村第二中学校	校舎	教室管理室棟 (東校舎)	RC	2	S47	971	A・A	
	校舎	教室棟 (南校舎中央棟)	RC	2	S47	383	A・A	
	校舎	教室棟 (南校舎西棟)	RC	2	S47	372	A・A	
	校舎	特別教室棟 (北校舎東棟)	RC	2	S48	596	A・A	
	校舎	特別教室棟 (北校舎西棟)	RC	2	S49	521	A・A	
	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	S59	1,029	新耐震	
	屋内運動場	柔剣道場	S	1	S59	220	新耐震	
磯部中学校	校舎	教室管理室棟	RC	2	S57	1,815	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	S58	709	新耐震	
玉野中学校	校舎	教室管理室棟	RC	3	S62	1,679	新耐震	
	屋内運動場	屋内運動場	W	1	S42	668	未診断	耐震診断予定

* 耐震性能の欄の表示は、1・2・3階の順に表示しています

1 建築物の耐震診断の基準

旧耐震基準の建築物について、その構造(RC、S)により、以下の基準のいずれかにて耐震診断を行っています。

- ・RC造 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」
(財団法人 日本建築防災協会)
- ・S造 「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」
(財団法人 日本建築防災協会)
- 「屋内運動場の耐震性能診断基準」
(文部科学省大臣官房文教施設企画部)

2 これらの基準等で診断した建築物の構造耐震指標値(Is)により、耐震性能を次表の区分により表示しています。

区分	建築物の構造耐震指標値(Is)	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性 (耐震性能)
A	$Is \geq Iso$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性が低い。
B	$Iso > Is \geq 0.6$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性が低い、施設機能が確保できないおそれがある。
C	$0.6 > Is \geq 0.3$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性がある。
D	$0.3 > Is$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性が高い。
新耐震	新耐震基準の建築物は、耐震診断の必要がありません。	

3 用語の説明

新耐震基準の建築物 (以下「新耐震基準」)	昭和56年6月1日に施行された建築基準法施行令の耐震関係の基準により建設した建築物。(建築物の耐用年限中に一度は遭遇するかもしれない程度の地震(震度6強~7程度)に対し、建築物の柱、壁、梁、斜材などに部分的なひび割れ等の損傷を生じて、最終的に崩壊からの人命の保護を図るもの。)
旧耐震基準の建築物 (以下「旧耐震基準」)	上記以前の基準により建設した建築物。
Is (建築物の構造耐震指標値)	構造物の構造体の耐震性能をあらわす指標値。
Iso	想定した地震動レベル(震度6強程度を想定)に対して建築物が所要する耐震性能が安全であるために必要とされる指標値。
構造耐力上主要な部分	柱、壁、梁、斜材などで建築物の自重、積載荷重、積雪および地震などの衝撃や振動を支えるもの。
RC	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
W	木造